

第697回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 ハッ場ダム建設事業 [関東地整]

- ・ハッ場ダムは、ダム下流域の洪水調節や首都圏の新規都市用水として水道及び工業用水の供給、吾妻川の流水の正常な機能の維持、群馬県による発電を目的として、令和2年3月に完成した重力式コンクリートダムである。令和2年4月から管理に移行し、運用を開始している。
- ・建設段階から多様なプランでのツアーを実施してきた。特に、ダム完成後を見据えた地域振興として地元主催のツアーが行われ、現在も継続している。
- ・「ダム上下流域地域の連携を促進し、地域の元気を育む」ことを基本方針としたハッ場ダム水源地域ビジョンが令和2年3月に策定された。また、令和3年3月25日には都市・地域再生等利用区域に指定され、ハッ場ダム周辺エリアについて、河川空間のオープン化による利用が開始されている。

…………… 群馬県吾妻郡長野原町



2 上信自動車道建設事業 吾妻西BP [群馬県]

- ・上信自動車道は、群馬県渋川市の関越自動車道・渋川伊香保IC付近から長野県側の上信越自動車道へ至る延長約80kmの高規格道路。
- ・吾妻西バイパスは、東吾妻町厚田から吾妻町松谷までの約7キロメートルの区間。災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため整備を進めている。
- ・バイパス完成により、国道145号の危険箇所を回避するとともに、災害時の代替路となる新たな道路ネットワークが確保される。また、高速道路に準じた構造の道路が整備されることで、速達性と定時性の高い走行が可能となり、移動時間の短縮が期待されている。
- ・令和5年度末開通に向け、工事が最盛期を迎えている。

…………… 群馬県吾妻郡東吾妻町



3 道の駅まえばし赤城整備事業 [前橋市]

- ・道の駅まえばし赤城は、日本百名山の赤城山南麓に位置する道の駅。「前橋の新たな玄関口」をコンセプトに、モノ×コト×ヒトの交流拠点として、令和5年3月21日にオープンした。
- ・本事業は、「独立採算型PFIと公設民営の複合型」により整備。基本計画の段階から事業者を選定し、設計・建設・運営を同一事業者が担う、先導的な事業手法で進められた。
- ・農畜産物直売所、観光案内所のほか、温浴施設（サウナ・寝湯）、芝生広場などを整備。また災害時には防災拠点としての機能が期待される。

…………… 群馬県前橋市

